

NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第65号(201412)

発行 竹田幸男



寝屋川市映像協会 秋の撮影会

11月19日(水)行き先は京都府南部の当尾の里。岩船寺、浄瑠璃寺を訪れ、その周辺にたたずむ石仏を対象に撮影会を行いました。

JR学研都市線で木津乗り換え、加茂下車、コミュニティバスで岩船寺まで。岩船寺での撮影後、山道を辿り、途中道ばたの野の石仏を撮影しながら浄瑠璃寺へ向かい、寺前で昼食の後、浄瑠璃寺での撮影。紅葉が見事でした。好天に恵まれ、一日を楽しく過ごしました。

例会の窓

平成26年11月例会

日 時：平成26年11月12日(水)
13:30～16:30

場 所：寝屋川市民活動センター4階
ワーキングスペース

出 席：天野 新井 小林 佐伯 竹下 竹田 谷 田淵 富田
欠 席：なし(50音順敬称略)

例会次第

1. 各会員の最近の活動状況・情報交換
省略

2. 報告・連絡・協議事項

(1) 会報筆者 富田さん

(2) 交野ドーム・合同例会・バーベキュー

- ・10月24日(金)映像北大阪・映像寝屋川と合同例会を行った。
- ・映像北大阪から7名・寝屋川市映像協会から9名参加
- ・プラネタリウムのドームに映像北大阪のプロジェクターで映写2,000ルーメンの光力がありながら演色性にも勝れたエプソンの最新型プロジェクターで天野さん・竹田さんの作品・同好会合同作品の天の川七夕まつり他を出品。
- ・映写会後、場所をバーベキュー会場へ移動、天の川を見下ろす景勝の地でパーティを盛り上げ、楽しく過ごし、盛会裏に終了しました。

(3) 撮影会 岩船寺・浄瑠璃寺

・11/19(水) 予備日11/21(金)

東寝屋川8:45集合 8:55発乗車 木津で乗り換え、加茂下車

竹田さん、新井さん、佐伯さん参加予定、富田さんは保留。

21日の場合：竹田さん、新井さん、谷さん、佐伯さん参加予定、富田さん保留

(4) 同好会ビデオ作品発表会

・27年3月14日に向けて準備を開始する。各人のテーマは？

(5) 今年のふれあいフェスタ 11/8(土)結果

・「テープ救出作戦」のタイトルの下に特にVHSテープ、DVテープ、カセット

トテープの変換の必要性と方法のPR、実演を行った。お手伝いに新井さん
小林さん 編集の参加に佐伯さん、谷さん。映像寝屋川からも多数参加して
盛会でした。

(6) 寝屋川市民文化祭 11 / 1 (土) 9・30 総合センターの結果

・同好会から4名参加、14作品を映写、特に午前中は満員の盛況でした。

(7) 大阪アマチュア映像祭 11 / 2 (日) 報告

・今年は照明担当(寝屋川映像協会)

OMCは11 / 16 (日)

(8) 市民活動センター耐震対策期間の例会をどうするか

・合同例会を増やす。3か月に一度合同例会をしてはどうか。

・合同例会以外の例会をどうするか。

・総合センターは(申し込み12月)エスポワールは。

・会所有の機器の置き場は。

(9) 忘年会日程 がんこ 12 / 6 (土) 12:00 (11:40集合)

・4,500円 竹田さん、竹下さん、天野さん、新井さん、谷さん、佐伯さん
参加予定、田淵さん保留。

(10) 検討テーマ

・最近のAVCメモや随想の内容を中心に話題を提供する。

「静止画を使った映像」9月の天野作品が見本、素材が容易に手に入る。活
動PR映像等を手軽に作れる。

「編集しない映像制作」

・撮影の前の準備が大切、予めタイトルをプリントして、または手書きで用意
して、それから撮り始める。撮影の順序をよく考えて、先に撮さなければな
らない場面が後にならないように考えて撮る。テープの場合は不可能だが、
ハイビジョンカメラの場合は、要らない場面を削除したり、同じ場面を複数
撮った、場合に良い場面を残して他を削除できる。長すぎる場面は分割して
一方を削除する。或いは3分割して前後を削除する等の簡易編集が出来る。
こういう簡易編集をすると削除したシーンは元に戻せないなので、簡易編集を
する前にパソコンに全データをコピーしてから始めれば、そのコピーを使っ
て後からパソコンで本格的な編集をすることが可能になる。

AVCHDのようなファイルは0.5秒単位(15駒)ごとでしか分割でき

ないので細かい編集は出来ない。パソコンを使った編集では1駒(1/30秒)単位で精密に編集が可能である。

3. 映写・合評

(1) 天野さん 長岡京 ガラシャ祭り 9分51秒

- ・画面の最初の説明文字が多くて読み切れなかった。
- ・時代背景などの解説は、画面の間に少しずつ分けてナレーションで入れたらいいのではないか。

(2) 竹田さんの友人、中村氏(松愛会) 水車 約6分

- ・ご自分で作られた大小の水車の紹介画面、中には7年間自宅の庭園で回り続けているものがある。僅かの水で回り続けられる精密な作りに驚きの声があった。
- ・歌謡曲などをBGMとして入れられ懐かしく楽しめた。

(3) 富田さん 城南町周辺 8分25秒

- ・大阪 玉造からスタート、真田山幸村像～陸軍墓地～心眼寺～鎌八幡～井原西鶴墓 無編集のBD、大阪の懐かしい風景が多い。

(4) 富田さん 天王寺七坂 10分

(5) 竹田さん 全山真紅 談山の錦 4分29秒

- ・市民文化祭出品作、以前例会で発表した物を再編集している。

(6) 竹下さん 湖東の秋 追想 西明寺 金剛輪寺 10分

- ・依頼した女声のナレーションであったが、最後の場面での竹下さん本人のナレーションがよかった。

(7) 竹下さん 鴨川シーワールド シャチの演技 5分

- ・未編集の素材とのこと。

4. 会員の当面する問題点質疑応答 省略

5. 来月の開催日 12/10(水) 13時30分 4Fワーキングスペース



ポイントカード余談

竹田 幸男

近所の田んぼを埋め立てて、長いこと何か工事をやっているな、なにか公共工事か、と思っているうちに、チラシが入ってドラッグストアの開店だ、という知らせが来た。ちょうどトイレットペーパーも切れかけているので、近くで良いや、と出かけてみた。新規開店だからサービス品目当てか、客は多い。入り口に机を並べてポイントカードの勧誘をやっている。この店のポイントカードは無料で作る。提携している大手スーパーグループに共通の電子マネーカードは手数料300円だが、200円はポイントで還元するという。いずれその大手スーパーの大規模モールも近くにできるということを聞いているので、それを見込んで大手スーパーグループの電子マネーカードを作った。

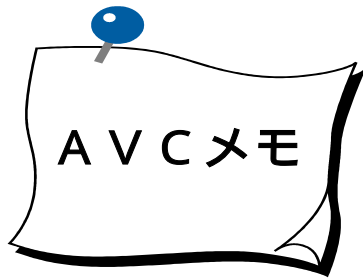
買い物をしてポイントが付くと言うことで、もらわねば損、みたいな感じで、気がついたらポイントカードが一杯貯まっている。中には、あまり、というか、殆ど使っていないものもある。ムードに押されて、つい作ってしまった物も多い。よく考えたら、貰うときには、住所、氏名、電話番号、生年月日は、それぞれ確実に記入している。あとメールアドレスや携帯番号、職業、e t cを求めるものもある。規約などを書いたパンフレットをくれるが、そんな物は殆ど読まない。たまに読んでみると、関連の会社から商品の宣伝などをすることがあるような記述がある。突然のダイレクトメールや電話勧誘などは、こういう”関連”の所から来るのだろう。まともに機能している内は良いが、最近流行のサイバー攻撃によるデータ流出とか、関係者によるデータの窃取などが起これば、個人情報が悪用されることにもなる。

とにかく手元のポイントカードの数が多くなったので、保管、携帯も大変で、また使う段になって必要なカードが出てこない。レジであれこれ探した後に断念することも多い。レシートを持ってくれば、その日のうちであれば追加しますよ、と言われても交通費を払ってまで店に戻ることはない。

ポイントカードに類似した物に割引券、割引カードがある。外食産業の飲み屋チェーンの割引カード、うどんチェーンの割引カード、いつも電池を入れて貰う時計店の割引券等々が一杯貯まっている。いずれも使わないと損、という感じが有り、これも保管が大変で、必要なときに出てこない。

最近では、グループを組んで、1枚のポイントカードを複数の店で使えるようなシステムが出て来た。利用者の立場としては、これをもっと進めて、すべてのポイントカードが1枚のカードに統一されたら非常に有り難いが、たぶん、それぞれの

システムの違いが大きいので乗り入れが難しいだろうし、また、他グループへの客の流出も懸念されることなのだろう。



顔の置き場所は？

竹田幸男

顔の置き場所、と言っても、顔を取り外してどこへ置こうか、と言う話ではありません。写真撮影に余り興味の無い人、また、余り慣れていない人に記念写真を撮って頂くと、特徴的なのは、画面の左右、上下の、それぞれ真ん中に顔を置いてある画像が多いのです。顔というのは最も注目度の高い被写体であり、撮影の時は、それに注目する余り、どうしてもファインダーまたは液晶の画面で見やすい中心に行きがちです。人物写真では上半身だけ、一部下半身も、或いは全身と、色々な撮り方がありますが、そのそれぞれにおいて顔の位置を全画面のどこに持ってくるかという構図が、とても大切です。画面の、上下の真ん中、そして左右の真ん中、と言った撮り方は、皆さんはなさらないと思いますが。

もっとも、顔の上方に、カンバンとか横断幕というような、背景として入れたい被写体があった場合は、結果としてベテランでも画面の中央に顔が来てしまう場合がありますが、そういう場合は除いて、顔の置き場所は、その人の写真歴を象徴する重要なポイントとして注意する必要があります。

記念写真の例を出しましたが、ビデオ撮影でも同様です。ある日本舞踊の発表会のビデオを見せてもらいました。撮影は大変上手にされていましたが、一寸気になったことは頭の上の空間に余裕がなく、上に手を振りかざすようなポーズをしたときは手の先が切れてしまって、手の表情が見えない場合があります。日本舞踊では全身の動きで表現しますので、手の先から足の先まで全部見えるように撮影することが大切です。

中学時代に画の上手な少女がいました。大学時代になってからだったと思いますが、近況のつもりで撮影旅行の風景写真を送ったことがあります。そのとき、水平線の位置が悪い、と言われました。絵画では水平線、地平線の位置は画面上下の3分の1以上、または3分の1以下に置くことが定石となっているということで、それを指摘されたのです。なるほど、風景の名画と言われるものは、この定石を守っています。しかし今、テレビで出てくる風景は必ずしもその定石には従っていないようです。

中学同窓の少女のその後、今は映像制作のベテランです。